

# 留学報告 チュラロンコン大学

茂木慎祐  
理工学研究科 国際開発工学専攻  
修士2年

# 概要

1. 留学目的
2. タイ王国チュラロンコン大学について
3. 計画
4. バンコクでの生活
5. 活動
6. 学んだこと

# 留学目的

## 留学申し込み以前

- TOEFLを通じて英語力を向上させる。

## 留学中

- 海外の大学の授業についていくこと
- 長期間滞在することにより、新しいものを発見すること

# チュラロンコン大学について

## 1. 大学紹介

- タイの東大
- 学生数: 36,200 (東工大の場合, 10,044)
- 学部生数: 22,575 (東工大の場合, 5,183)
- 学科数: 17 (e.g. 文学部, 歯学部, 経済学部, 法学部, 工学部)
- 制服



## 2. 留学生向けプログラム

修士のプログラム：  
Infrastructure in Civil Engineering

インフラマネジメントを特化して勉強したい学生のためのプログラムである。

講義：  
Contracting in Construction Business,  
Large Scale Project impact Study and so on.



# スケジュール

元々の計画

2011年 10月	10月26日バンコク到着
11月	
12月	1学期目 11月スタート
2012年 1月	3月の第1週目に 終了
2月	
3月	日本で就職活動
4月、5月	日本で就職活動
6月-11月	2学期目
12月- 2012年3月	東工大で研究、卒業

最終的な計画

2011年 10月	洪水の影響がバンコクに広がる。
11月	
12月	12月11日バンコク到着
2012年 1月	1学期目 12月13日スタート
2月	3月31日終了
3月	
4月、5月	日本で就職活動 無事終了
6月-11月	東工大で研究
12月- 2012年3月	東工大で研究、卒業

## 変更点

- 1学期目のスタート時期が洪水の影響で遅れる。
- 予定していたプログラムに参加不可になった。
- 2012年6月から東工大で研究

# バンコクでの生活

## 住居

大学寮：Nonsi-Residence

寮費:

10,800 バーツ/月  
(約27,300円/月)

設備:

テラス

レストラン

クリーニングサービス/コイン

ランドリー

インターネット

ミニマート

無料サービス

シャトルバスサービス

衛星放送

プール

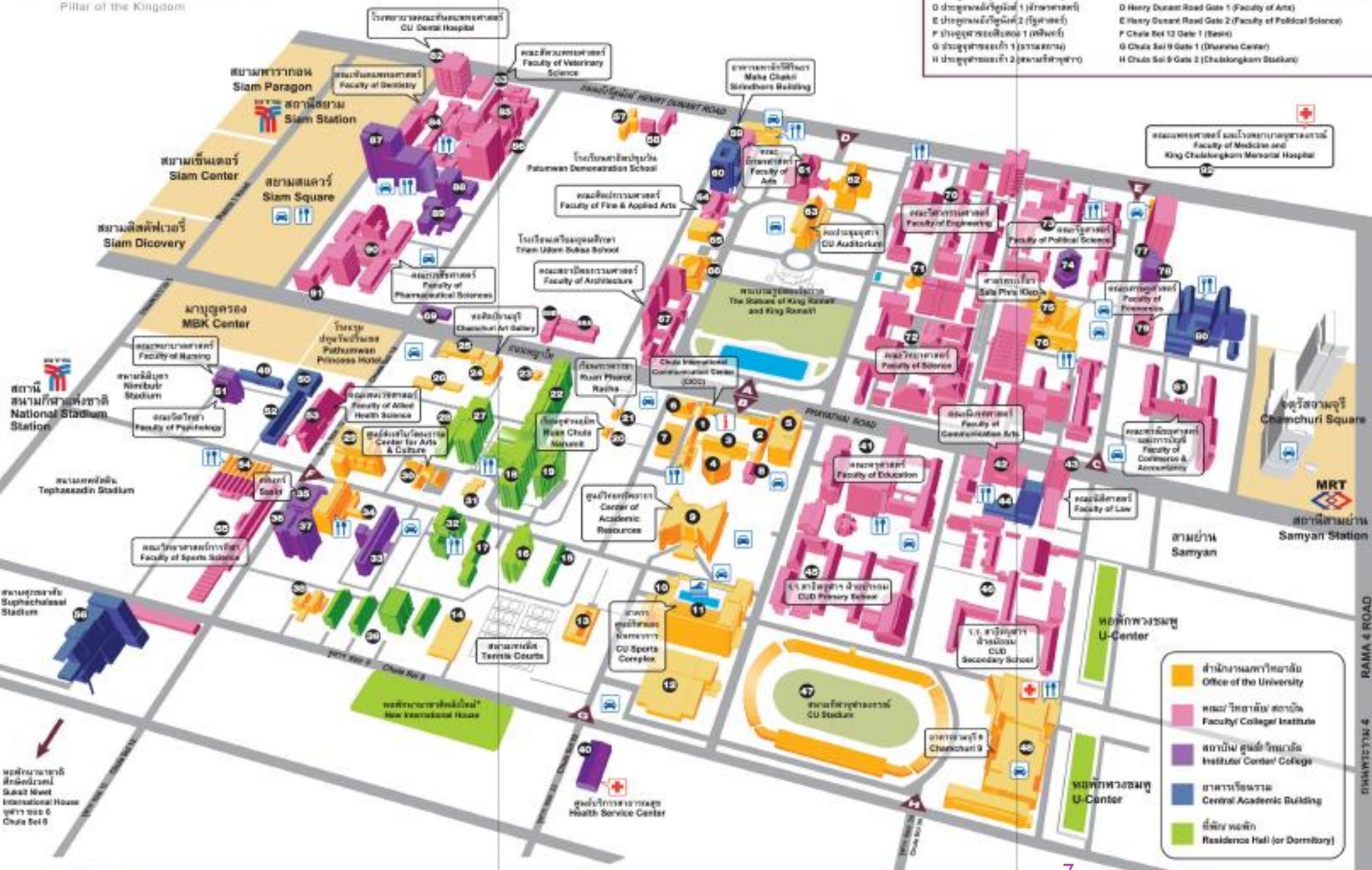
ジム



# 大学キャンパス

**ประตูทางเข้า / GATE**

A ประตูทางเข้า 1 (สระน้ำ)	A Physical Road Gate 1 (The Pool)
B ประตูทางเข้า 2 (สำนักงานมหาวิทยาลัย)	B Physical Road Gate 2 (Office of the university)
C ประตูทางเข้า 3 (คณะพาณิชยศาสตร์และการบัญชี)	C Physical Road Gate 3 (Faculty of Commerce & Accountancy)
D ประตูทางเข้า 4 (คณะอักษรศาสตร์)	D Henry Dunant Road Gate 4 (Faculty of Arts)
E ประตูทางเข้า 5 (คณะวิศวกรรมศาสตร์)	E Henry Dunant Road Gate 5 (Faculty of Engineering)
F ประตูทางเข้า 6 (คณะสัตวแพทยศาสตร์)	F Chula Soi 12 Gate 1 (Basil)
G ประตูทางเข้า 7 (คณะศิลปกรรมศาสตร์)	G Chula Soi 9 Gate 1 (Dusanna Center)
H ประตูทางเข้า 8 (จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย)	H Chula Soi 5 Gate 2 (Chulalongkorn Stadium)



## 交通計画研究室での生活

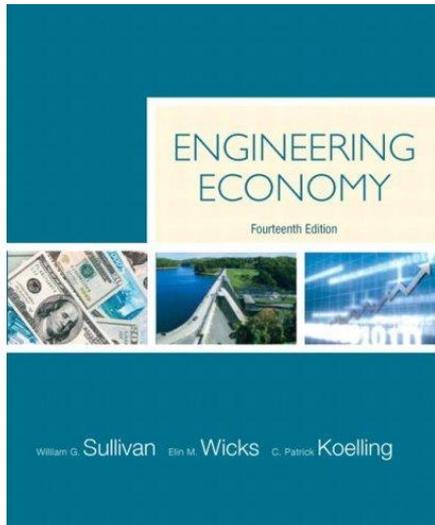
- 2つの研究室
- 多くのタイ人、ラオス人学生はあまり英語を話したがらない。
- タイ語が出来ない留学生は自分を含めて2人。もう一人はブータンからの修士の学生。
- キャンパス内で停電がしばしば起きる。

# 活動

## 講義とゼミ

- Evaluation of Transport Project and Policy
- Intelligent Transport System (ITS)
- ISE seminar

## Evaluation of Transport Project and Policy



- 中間テスト、期末テスト、最終レポート。
- Engineering economy は土木工事プロジェクトに適応する経済学のひとつ
- 学んだこと：  
たとえば、バスターミナルを移転する計画を実行すべきかどうか決定することができる。  
お金の時間的価値、各選択肢におけるコストと便益 (移転する場合と移転しない場合)

各選択のキャッシュフローにおける正味現在価値を計算する。

## Intelligent Transport System (ITS)

- ITS とは交通の問題への情報技術(コンピュータ、センサー、有線、無線)の適応である。
- 講義目的は、交通における情報技術の使用を学ぶこと。

例えば、ITSを用いた駐車システムを描くこと(課題のひとつ)

- 駐車をコントロールする方法は、ITSを使うことである。The way we manage parking can be improved with ITS.
- 駐車する際、2つの選択がある。キャンパス内の駐車場ビルに駐車、キャンパス周辺の道路に路上駐車
- これらの駐車が問題を引き起こす場合、ITSを用いた駐車システムを描くこと。

### 課題への取り組み

- 私の代わりに、タイ人の友人に駐車場の係員に質問をしてもらった
- 一番の問題は、警官が違法路上駐車ドライバーから罰金を徴収できないことではないか。
- イタリアでの取り組みが適応できるのではないか。

## ISE seminar

- 1学期目の修士及び博士は、ゼミで研究発表をしなくてよい。
- すべての学生は、専門により、各グループに分けられる。
- ゼミの後、先生方及び学生が合同で夕食をとる。
- ゼミは1年に1回

# その他の活動



タイの指導教官及びその学生との新年会



歓迎会



新年のカウントダウン花火

# 学んだこと

## 講義

- 効率良く予習することができるようになった。
- 最初は、授業中に質問することができなかったが、最終的に質問することができるようになった。

## その他

- 将来おこるべき問題を予想し、起こったときに冷静に対処することが大事。